

## 4 . 鉄道駅と周辺地区のバリアフリー化の現況と課題

### ( 1 ) 検討対象地区の選定

池田市の鉄道駅は池田駅、石橋駅の2駅であり、その周辺地区はいずれも優先的にバリアフリー化を図るべき「重点整備地区」の要件に該当します。

このため、この基本構想では、池田地区・石橋地区を以降に示す重点整備地区・特定経路・整備構想等の検討対象地区としました。

表 4.1 検討対象地区の選定理由

	池田地区	石橋地区
特定旅客施設	池田駅（阪急宝塚線）	石橋駅（阪急宝塚線・箕面線の乗換え駅）
旅客施設の規模	1日あたりの乗降客数 54,996人（H15）	1日あたりの乗降客数 59,652人（H15）
	いずれも乗降客数が、特定旅客施設のバリアフリー化の要件である5,000人を超えており、移動円滑化を図るべき駅となっています。	
公共施設等の配置	市役所、病院、郵便局、銀行 ショッピングセンター 商店街など	商店街、市民文化会館 石橋プラザなど
	いずれも、高齢者や身体障害者等が、日常生活で利用すると認められる公共公益施設が、徒歩圏域に集積しています。	
事業実施の課題	駅周辺道路の歩道が狭い などの問題があります。	駅にエレベーターがなく、 上下移動の円滑化がとめられます。 駅周辺道路は歩道がない、歩道が狭いなどの問題があります。
	いずれも、駅、周辺道路などのバリアフリー化が必要です。	
事業実施の効果	池田市の中心核であり、市民を含め多くの人々が訪れる地区	駅前の商店街や学校など地域住民をはじめ多くの人々が訪れる地区
	いずれも、バリアフリー化による整備効果が高い地区と考えられます。	

## ( 2 ) 池田地区の現況と課題

### < 交通の概況 >

表 4.2 池田地区の交通の概況

駅名	池田駅 ( 阪急宝塚線 )										
乗降客数	54,996 人 ( H15 )										
駅前広場	駅北側に駅前広場あり ( バスターミナル、タクシーのりば、一般車乗降場 )										
バス乗降	東のりば ( 池田病院、五月丘、下渋谷、東畑などの方面 ) 西のりば ( 伏尾台、久安寺、余野、牧などの方面 )										
主な端末交通手段 ( 第 4 回京阪神パーソ ントリップ調査 H12 )	<p>A pie chart illustrating the main terminal transportation methods based on the 4th Keihan-Kansai Personal Trip Survey (H12). The data is as follows:</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>交通手段</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>徒歩</td> <td>66%</td> </tr> <tr> <td>バス</td> <td>17%</td> </tr> <tr> <td>二輪</td> <td>14%</td> </tr> <tr> <td>自動車</td> <td>3%</td> </tr> </tbody> </table>	交通手段	割合 (%)	徒歩	66%	バス	17%	二輪	14%	自動車	3%
交通手段	割合 (%)										
徒歩	66%										
バス	17%										
二輪	14%										
自動車	3%										
駐輪場	阪急池田駐輪センター 池田駅東 ( レンタサイクルあり ) 池田駅東第二 サンシティ池田前買物客用駐輪ラック										

< 特定旅客施設 >

池田駅の施設は、移動円滑化基準に義務づけられたバリアフリー化は一通り満たしています。しかし、駅舎整備が昭和 60 年であり、当時は最先端であった施設が現在のガイドライン等の基準と比較すると、十分ではない部分もあり、さらなる質の向上が望まれます。

< 移動経路の状況 >

構外から改札まで・・・エレベーター、エスカレーターが整備されている

改札からホームまで・・・エレベーター、上りエスカレーターが整備されている

< 池田駅構内エレベーター >



< 池田駅構内エスカレーター >



< 池田駅構内階段 >



< 池田駅構内トイレ >

車いす用トイレはあるが、手すりの位置が現在のガイドラインと違う、オストメイト対応設備がないなど、十分ではない



< ホーム >

ベンチ・休憩施設が整備された明るいホーム



図 4.1 移動経路の状況

< 移動経路 >

池田地区では、歩道は概ね整備されているが、一部、有効幅員が狭い、縦横断勾配が急、視覚障害者用誘導ブロックがない、放置自転車や路上駐車がが多いなどの問題があります。

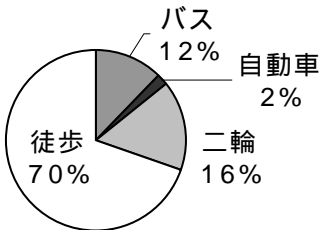


図 4.2 移動経路の状況

### ( 3 ) 石橋地区の現況と課題

#### < 交通の概況 >

表 4.3 石橋地区の交通の概況

駅名	石橋駅 ( 阪急宝塚線・箕面線の乗換え駅 )
乗降客数	59,652 人 ( H15 )
駅前広場	駅前広場は確保されていない * タクシーのりばあり、一般車は駅前の狭い空間で回転
バス乗降	阪急石橋バス停 ( 西宮北口、茨木、伊丹などの方面 ) 石橋北口バス停 ( 井口堂、畑、池田などの方面 ) いずれも駅西口から 300m 程度離れている。
主な端末交通手段 ( 第 4 回京阪神パーソ ントリップ調査 H12 )	 <p>徒歩 70% 二輪 16% バス 12% 自動車 2%</p>
駐輪場	石橋駅中央 石橋駅中央第二 ( レンタサイクルあり ) 石橋駅東、石橋駅南、石橋駅西、石橋駅北 石橋商店街第一、石橋商店街第二など

< 特定旅客施設 >

石橋駅の施設は、エレベーター・エスカレーターがなく、地下通路と階段でホーム間の移動を行っています。

車いす利用者のために階段昇降装置（エスカル）はありますが、移動に時間がかかり、円滑に移動できるとはいえない状況です。

周辺に店舗・住宅等が密集しているため、駅施設や駅前空間が狭く、限られた空間を有効活用してのバリアフリー化が必要です。

< 移動経路の状況 >

構外から改札まで……地上階でそのまま移動できる

改札からホームまで、ホーム間（宝塚線と箕面線）の移動……地下通路と階段のみで、エレベーターがなく、車いすの移動には階段昇降装置（エスカル）を利用する

< 石橋駅構内階段 >



< 石橋駅構内エスカル >



< 石橋駅構内トイレ >

車いす用トイレはあるが、狭い



< 石橋駅ホーム >

梅田行ホームの宝塚側が大きくカーブしており、電車とプラットホームの間に大きな隙間や段差がある



< 石橋駅構内 >

サービスセンターに授乳室があるが、あまり一般に知られていない



図 4.3 移動経路の状況

< 移動経路 >

石橋地区では、市街地が密集しているため道路空間が限られており、歩道がない道路や狭い道路が多くあります。

特に、商店街周辺には放置自転車・路上駐車・店舗や看板のはみ出しなどがあり、移動しにくい状況となっています。

狭い歩道と  
立ち並ぶ電柱  
< 井口堂天神線 >



歩道がない道路の一角にバス停留所が  
設けられ、歩きにくくなっている  
< 神田石橋線 >



商店街の放置自転車や路上駐車、店舗のはみ出し < 石橋商店街など >



図 4.4 移動経路の状況